

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和5年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	421	0	415	0	415	0
備蓄米	0	0	0	0	0	0
飼料用米	1	0	1	0	1	0
米粉用米	0	0	0	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	0	0	0	0
WCS用稲	0	0	0	0	0	0
加工用米	0	0	0	0	0	0
麦	103	2	104	3	105	5
大豆	88	77	89	78	90	80
飼料作物	0	0	0	0	0	0
・子実用とうもろこし	0	0	0	0	0	0
そば	14	13	15	14	16	15
なたね	0	0	0	0	0	0
地力増進作物	0	0	0	0	0	0
高収益作物	38	0	39	0	42	0
・野菜	15	0	16	0	17	0
・花き・花木	8	0	8	0	9	0
・果樹	15	0	15	0	16	0
・その他の高収益作物	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
・	0	0	0	0	0	0
畑地化	0	0	0	0	0	0

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	麦、大豆、そば （基幹作物）	戦略作物等の集団転作 定着度に係る助成（当 該年度集団転作地域 内）	戦略作物等の集団転作 定着度割合（%）	（R3年度）80	（R4年度）85 （R5年度）90
2	麦、大豆、そば （二毛作）	戦略作物等の農地高度 利用に係る助成	戦略作物等の農地高度 利用導入面積（ha）	（R3年度）89	（R4年度）90 （R5年度）91
3	たまねぎ、アスパラガス、 トマト（加工用舎）、トルコ ギキョウ、アリウム、グラ ジオラス、あんず、ワイン 用ぶどう	地域振興作物の生産に 係る助成	地域振興作物の導入面 積（ha）	（R3年度）10	（R4年度）12 （R5年度）15
4	野菜、花卉、花木、果樹 （別紙産地交付金対象作物 一覧のとおり）	高収益作物に係る助成	高収益作物の導入面積 （ha）	（R3年度）2.7	（R4年度）4 （R5年度）5
5	そば （基幹作のみ）	そば生産に係る助成 （地域の取組に応じた 配分の対象）	対象作物の作付面積 （ha）	（R3年度）1	（R4年度）1.1 （R5年度）1.5
6	飼料用米 （基幹作のみ）	飼料用米の複数年契約 加算に係る助成	複数年契約の作付面積 （ha）	（R3年度）0.3	（R4年度）0.3 （R5年度）0.5

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:長野県

協議会名:千曲市農業再生協議会

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	戦略作物等の集団転作定着度に係る助成	1	10,000	麦、大豆、そば	対象作物の作付面積又は作業受託による作付面積
2	戦略作物等の農地高度利用に係る助成(二毛作)	2	9,000	麦、大豆、そば	対象作物の作付面積又は作業受託による作付面積
3	地域振興作物の生産に係る助成	1	29,000	たまねぎ、アスパラガス、トマト(加工用含)、トルコギキョウ、アリウム、グラジオラス、あんず、ワイン用ぶどう	対象作物の作付面積又は作業受託による作付面積
4	高収益作物に係る助成	1	14,000	別紙のとおり	対象作物の作付面積又は作業受託による作付面積
5	そば生産に係る助成	1	20,000	そば	対象作物の作付面積又は作業受託による作付面積
6	飼料用米の複数年契約加算に係る助成	1	6,000	飼料用米	1 需要者側へ出荷・販売を目的として、以下の要件を満たす3年以上の複数年契約(令和2年産から新たに結んだ令和4年産まで、または令和3年産から新たに結んだ令和5年産までの3年分を含むもの)に基づき、対象作物の生産に取り組む販売農家(複数年契約に係る新規需要米取組計画に位置づけられた者に限る)による取組であること。 ①生産者側と需要者側の契約であること。 ②販売契約書に各年産米の契約数量及び契約価格(契約価格の設定方法含む)が明確に記載されており、かつ、契約不履行に対する違約条項があること。 ③複数年契約期間中の契約数量が維持又は増加するものであること。 2 需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領に定める新規需要米取組計画の認定を受けていること。 3 飼料用米については、生産性向上のための課題に対する取組として、別紙の生産性向上の取組のうち、1つ以上に取り組むこと。 対象作物の作付面積又は作業受託による作付面積(要件あり)

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができます。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。